



## 「逆上がりのできる子調査」 4 年生、数値が改善！！

### 逆上がりのできる子調査

年 度 学 年	24 年 度	25 年 度	26 年 度	27 年 度	28 年 度	29 年 度	30 年 度
6 年	77.3%	77.7%	77.4%	78.9%	74.8%	74.8%	76.2%
5 年	71.6%	74.1%	75.3%	72.6%	73.4%	73.7%	70.5%
4 年	69.9%	71.4%	67.6%	69.3%	69.2%	66.4%	68.4%
3 年	63.0%	60.5%	60.1%	63.0%	58.4%	56.1%	55.4%

### 後方支持回転のできる子調査

年 度 学 年	25 年 度	26 年 度	27 年 度	28 年 度	29 年 度	30 年 度
6 年	30.1%	30.4%	30.0%	27.1%	28.0%	26.3%
5 年	28.1%	27.1%	23.9%	28.3%	27.8%	23.3%
4 年	24.7%	20.7%	25.6%	23.0%	21.3%	21.7%
3 年	15.4%	17.1%	16.7%	12.7%	14.5%	15.8%

#### <成果と課題> ○成果 ●課題

- 3 年生の後方支持回転の達成率が 2 年連続で向上。
- 4 年生の逆上がりの達成率の向上に伴い、4 年生の後方支持回転の達成率が向上。
- 6 年生の逆上がりの数値が向上しており、該当学年は低学年から順調に数値を伸ばしている。
- 3 年生の逆上がりの達成率が 3 年連続で低下。
- 5・6 年生の後方支持回転の達成率が大きく低下。

以上の成果と課題から、低学年から継続して指導を重ねて基礎感覚を作る大切さが分かります。低学年のうちから、逆上がりの基礎となる足抜き回りの指導を重点的に行っていくことで、中・高学年での逆上がり達成率が上がると考えられます。また、逆上がりに必要な基礎感覚を身に付けるために環境面と、低学年で行う指導法として、以下のことを提案します。

#### <達成率向上のために>

##### ○環境面

- ・子どもたちが鉄棒に触れる機会を十分に確保し、教師も休み時間に外へ出て頑張りを認める。
- ・委員会活動とタイアップし、「鉄棒週間」を設けて講習会をしたり、認定証をあげたりする。
- ・鉄棒パットやタオル、鉄棒の下に敷くマットなど、補助具を活用する。

##### ○低学年で行う指導法（足抜き回りの他にも以下の技も有効です。）

つばめ → ふとんほし → 前回り下り



この3つの動きを練習することで、腕支持感覚、逆さ感覚等が身に付きます。

こうもりふり → 逆立ち下り



腰を両手で補助してあげることで、多くの子ができるようになります。オノマトペ（擬態語）を使って指導すると効果的です。

※オノマトペ…「ピッ」「パタン」「くるん」など音として表すとイメージしやすくなるもの。